

R6. 6月改訂版

令和6年度

利用の手引き

青少年団体編



ニホンカモシカ

豊田市総合野外センター

〒444-2201 豊田市坂上町朝日山13-1

TEL 0565-58-1388
FAX 0565-58-1349

目次

1	豊田市総合野外センターについて	1
2	申込みから入所まで	2
3	利用に必要な経費	3
4	事前打合せ	5
5	活動プログラムの作成	6
6	プログラム例と留意点	7
7	入所・退所式(つどい)の実施例	12
8	自然の家での生活	14
9	キャンプ場での生活	15
10	健康・安全	16
11	送迎バスについて	18
12	持ち物一覧表	20



1 豊田市総合野外センターについて

(1) 野外センターのねらい

豊田市の市街地から東へ約16kmの所に位置し、愛知高原国定公園の六所山、炮烙山一帯の自然を活かして、宿泊体験を中心とした野外活動や集団活動等を行うための**青少年育成施設**です。当施設ではその特色を活かし、次のような生活目標の達成をねらいにしています。

- | |
|-----------------------------|
| 1 自然や物を大切にしよう |
| 2 元気よく あいさつをしよう |
| 3 活動を通して 心身を鍛えよう |
| 4 集団生活を通して 思いやりと感謝の気持ちを育てよう |

(2) 活動施設

①自然の家

宿泊室（2階6室・3階6室）、リーダー室（1階1室、2階1室、3階2室）、保健室、食堂、浴室、ほおのきホールや1階ピロティー部分にはさえずり広場などがあります。

②キャンプ場

テントを設営するサイトが2か所、常設テントのサイトが2か所あります。また各テントサイトには、広場と雨天時に対応可能な炊事棟があります。

③付帯施設・設備

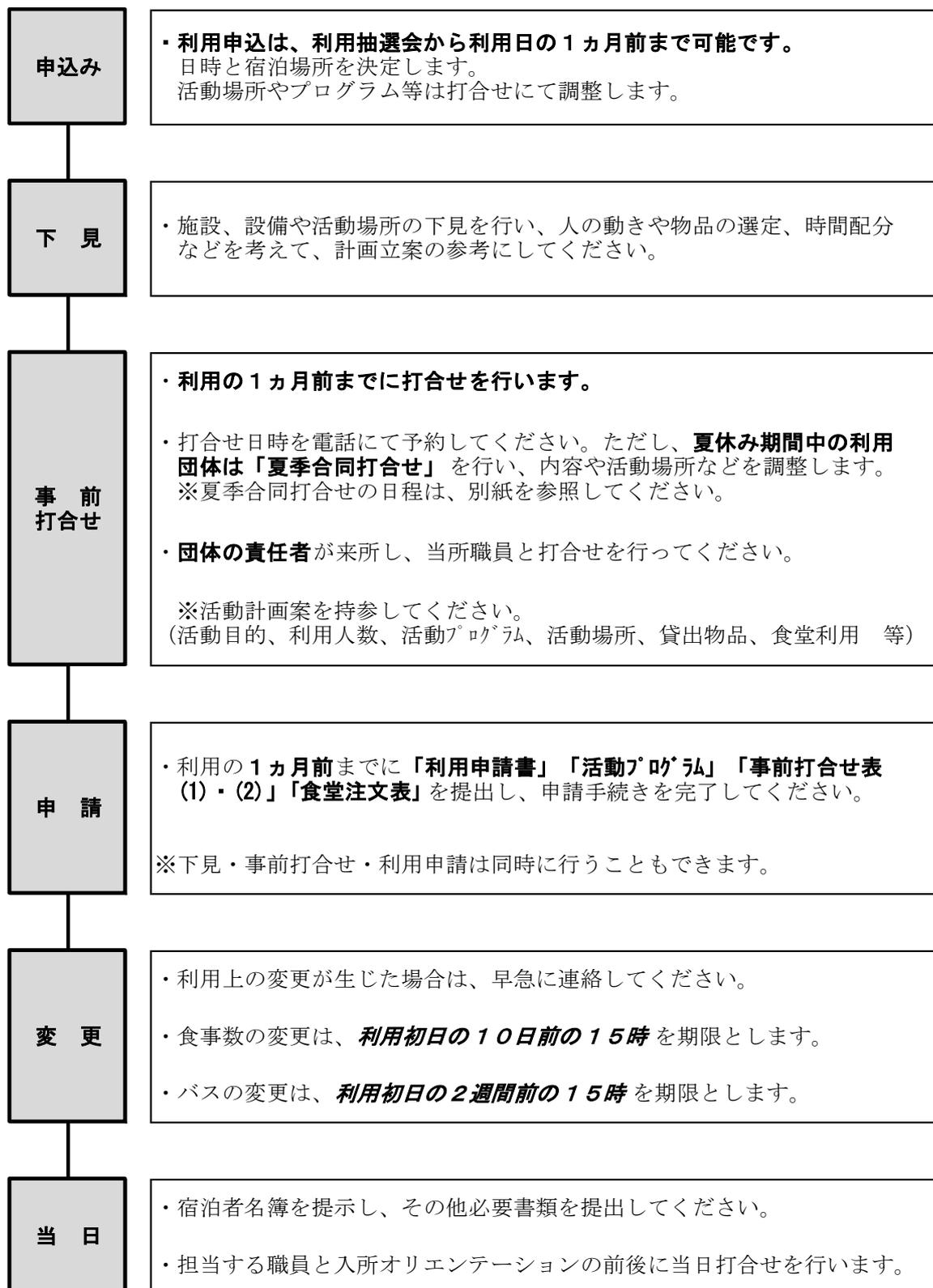
クラフトやレクリエーション活動の場として**多目的ホール**、野外で身体を動かす活動ができる**運動広場**や**アスレチックエリア**、自然を紹介する場として、**山の資料館**や**天体観測場**、自然に親しむ活動の場として、**オリエンテーリングコース**や**六所山・炮烙山ハイキングコース**、雨天時にキャンプファイヤーのできる**雨天ファイヤー場**があります。

(3) 宿泊定員

宿泊場所		宿泊人数	
自然の家 (222名)	2階宿泊室	102名	1室17名×6室
	3階宿泊室	102名	1室17名×6室
	リーダー室(A~D)	計18名	A・B各6名 C・D各3名
キャンプ場 (472名)	ファミリーサイト	150名	常設テント(6人用)×25張
	ファミリー広場 管理棟 リーダー室	4名	1室4名 ※寝具なし
	キャンプ場 管理棟 リーダー室	20名	1室10名×2室 ※寝具なし
	Aサイト	120名	常設テント(6人用)×20張
	Bサイト	86名	常設テント(6人用)×3張
			設営テント(4人用)×17張
Cサイト	92名	設営テント(4人用)×23張	

2 申込みから入所まで

(1) 青少年団体の利用



3 利用に必要な経費

(1) 使用料（1名1泊につき）

区分	自然の家		キャンプ場	
	市内(※1)	市外	市内(※1)	市外
4歳以下	無料	無料	無料	無料
5歳以上 小学生 中学生		500円		300円
高校生(※2) または 18歳以下(※3)		1000円		500円
上記以外	400円		200円	
日帰り利用は、キャンプ場1泊料金の半額				

※1 「市内」の者とは、豊田市に住所を有する者及び市内に在園、在学、または在勤の者をいう。

※2 「高校生」の者とは、特別支援学校高等部もしくは高等学校に通う生徒、または高等専門学校に通う学生(第3学年までの学生に限る)をいう。

※3 「18歳以下」の者は、18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にあるものに限る。

(2) 使用料の免除について

次に該当する団体は使用料が免除されます。

- ①市内義務教育学校及びみよし特別支援学校、愛知教育大学附属特別支援学校の生徒または児童およびその指導者等が、教育課程に基づく教育活動の一環として利用するとき
- ②市内のこども園または幼稚園の園児およびその指導者が、保育活動または教育活動の一環として利用するとき
- ③市内の青少年育成団体、青少年指導者団体等が青少年の健全育成を目的として利用する場合で、団体の構成員およびその指導者の集団宿泊訓練および野外活動を行うとき
- ④その他、特に教育委員会が必要と認めたとき

(3) その他の経費

①どんぐり食堂 食事代

区分	朝食	昼食	夕食	合計
幼児	270円	360円	450円	1,080円
小学生	300円	400円	500円	1,200円
中学生	320円	420円	520円	1,260円
大人	350円	450円	550円	1,350円

・その他に、おにぎり弁当(300円)とミックスフライ弁当(400円)が注文できます。

・食事数の変更は**利用初日の10日前の15時**を期限とします。

②少年自然の家 寝具用シーツのクリーニング代

シーツ、枕カバー：220円/セット

・宿泊者1名に対し1組使用してください。(乳幼児も枚数に加えます)

③活動にかかる諸経費

品名	価格	単位	内容
五平餅セット	180円	1人分	米1合、2本分(たれ・くし含む)★燃料代は別途
〃 用たれ	150円	1パック	6～8人分(追加用) ★単品でも販売します
〃 用くし	20円	1本	追加用 ★単品でも販売します
もちつき	400円	1人分	もち米1合、11月～3月限定 ★燃料代は別途
オードブル	2,500円	5人分	
(コーンスープ付)	3,000円	5人分	
ペンダント	100円	1人分	
キーホルダー	150円	1人分	
ストラップ	150円	1人分	
焼板キーホルダー	150円	1人分	
ウッドバッジ	150円	1人分	
バードコール	250円	1人分	
ウッドパズル	200円	1人分	
木の枝スプーン・フォーク	各300円	1人分	
写真入れ	300円	1人分	
かべかけ	300円	1人分	
焼板パネル	6,000円	1セット	10cm×10cmのパネル 42枚分
竹クラフト	600円	1本	10節/本 ※紙やすりは別途(20円/枚)
紙やすり	20円	1枚	
キャンドル用ろうそく	500円	1箱	「キャンドルファイヤー」燭台用及び入場用のろうそく
電灯提灯	100円	1個	きもだめし、五感ゲーム用
方向表示灯	200円	1台	電灯提灯用電球2組使用
火起し器	100円	1台	器具のみ
もぐさセット	100円	1セット	トイレットペーパー付
もやまき	300円	1束	着火用の小枝束
コワまき(杉)	400円	1束	炊事用(カレーライスなど)
カタまき	500円	1束	火力が必要な炊事用
炭	1,200円	5kg	焼き台約3台分
炭	2,400円	10kg	焼き台約6台分
灯油	120円	1リットル	井桁セットには点火用の灯油が含まれます
トーチ棒	300円	1本	キャンプファイヤー用
ファイヤーまき	400円	2本	井桁1段分
ファイヤー-井げた大セット	8,000円	1セット	150名程度または2時間程度
ファイヤー-井げた中セット	6,000円	1セット	100名程度または1時間30分程度
ファイヤー-井げた小セット	5,000円	1セット	50名程度または1時間程度

(4) 支払方法

	支払い方法	期限
使用料	現金	利用終了時まで
諸経費	現金	利用終了時まで

・所定の領収書を発行します。

4 事前打合せ

- (1) 野外センターの職員と団体の指導者が、利用目的や活動プログラムについて効果的な計画の作成ができるように話し合いをします。
- (2) 野外センターでは、活動の内容により職員の直接指導を受けることもできます。
- (3) 事前打合せは、利用日の**1ヶ月前**までに行ってください。
※打合せや下見に来られる際は**事前に連絡**をし、**予約**を入れてください。
予約が無い場合は職員が対応できない場合もあります。(後日再度打ち合わせ)
- (4) **夏休み期間中の利用は「夏季合同打合せ」を実施します。**
※「夏季合同打合せ」の日程は別紙にて配布します。
- (5) 打合せ内容

【確認事項】

- ①利用日時、利用人数、宿泊施設
- ②利用の目的（活動のねらい）

【説明事項】

- ①野外センターの役割およびルール、利用者の心構え
- ②利用できる施設・設備
- ③プログラム作成上の留意点（基本時間）
- ④入退所式およびつどいの行い方
- ⑤生活のしかた
(部屋割り、サイト割り、清掃分担、入浴、係活動など)
- ⑥持ち物および必要物品

【調整事項】

- ①活動プログラムと活動場所（晴天、雨天）
- ②依頼の内容と指導方法
- ③使用物品および貸出物品について
- ④交通手段（バスの発着時間、場所、台数）

【提出書類】

[事前打合せ時]

- ・利用申請書
- ・活動プログラム
- ・事前打合せ表(1)(2)
- ・食堂注文表

[利用当日]

- ・利用許可書
- ・活動のしおり 2部(宿泊の場合)
- ・利用者名簿
- ※宿泊室またはテント番号と
指導者の避難誘導の役割
分担を明記してください

[利用後]

- ・人員確認簿（退所時）
- ・アンケート（退所時）

5 活動プログラムの作成

(1) 活動プログラムの作成

活動プログラムの立案に際しては、野外センターの施設・自然環境・特色等をよく理解した上で、ねらいを明確にし、効果的な活動ができるようにしてください。

(2) 効果的な活動プログラムを作成するために

- ①活動の目標・ねらいを明確にしてください。
- ②日常の学校生活や家庭では体験できない活動をできるだけ取り入れてください。
- ③不測の事態に対応できるよう、活動に無理のない計画をお願いします。
- ④参加者がスケジュールに追われてしまうことのないように、移動、準備、片付け時間を考慮してゆとりのある計画を立ててください。
- ⑤参加者の自主性を重視した活動（最後まで自分たちでやり抜く活動）を入れてください。
- ⑥適度な失敗体験、感動のある成功体験ができるような計画を立ててください。
- ⑦活動の内容次第では、全体で行う活動だけでなく、グループごとに異なった活動を展開することもできます。
- ⑧同時利用の団体がある場合は、利用調整が必要になりますので、プログラムの入替えなども考慮した活動プログラムを作成してください。
- ⑨雨天時の活動プログラムも必ず作成してください。
- ⑩緊急時に適切な措置がとれるよう、安全対策についても十分配慮してください。

(3) 基本的な生活時間

下記の時間に添ってプログラムを立案してください。

開始時間	プログラム	備 考
6:00	起床・洗面	チャイムがなります
6:30	朝のつどい	
7:00	朝食準備	
9:00	活 動	食堂配膳準備はこの時間から開始です ※食堂の利用時間は7:00～9:00まで 退室前に室内点検を受けます ※8:45以降
12:00	昼食準備	
13:30	活 動	食堂配膳準備はこの時間から開始です ※食堂の利用時間は12:00～14:00まで
16:30	夕べのつどい	
17:00	夕食準備	
18:30	活動	食堂配膳準備はこの時間から開始です ※食堂の利用時間は17:00～19:00まで 入浴は21:30までに済ませてください ※指導者の入浴は22:00までに済ませてください
21:00	就寝準備	
21:30	反省・就寝	
22:00	消灯	

- ・上記の表は基本的な生活時間です。活動（例：野外炊事）により変更することもできます。
- ・食堂の時間は厳守してください。
- ・団体が独自に時間設定する場合は、野外センターの運営に支障をきたさない範囲でプログラムを計画できるよう、事前に職員にご相談ください。
- ・朝のつどい・夕べのつどいは省略できます。

6 プログラム例と留意点

少年団体（50人・日帰り利用例）

時間	活動内容	雨天	留意点
9:00	移動		・人数確認
10:00	入所式 オリエンテーション		・役割分担（司会は指導者もしくは参加者） ・オリエンテーションの前後に職員と打合せ
10:30	野外炊事 ・五平もち（幹旋可） ・バーベキュー（材料持参） ・枝巻パン（材料持参） もちつき（冬期）など	雨天時可能 ※活動場所と人数に注意	・役割分担 ・安全管理（刃物、やけど） ・燃料や物品の受渡し ・片付けやゴミの分別 ・衛生指導 ・炊事場などの使い方 ・食材や物品の管理
12:30	貸出物品・ 使用場所の点検		・残灰などの片付け ・元の状態に戻す ・使用場所の清掃
13:00	野外活動1 ・アスレチック ・探検ビンゴ ・オリエンテーリング ・ハイキング など	・ちびっこギネス ・室内ゲーム ・クラフト など	・事前下見 ・持ち物確認 ・人員配置（安全管理） ・評価方法（成績発表） ・緊急時の対応の確認
15:30	退所式		・役割分担 ・ケガの有無 ・会計（諸経費の精算） ・人員確認簿、アンケートの提出 ・荷物の確認 ・トイレの確認
16:00	移動		

プログラム立案のポイント

- 安全・・・ キャンプ活動は体力の消耗などを考慮に入れ、通常より万全に。
- ねらい・・・ 「自然に触れる」「理解する」「社会性を伸ばす」などはっきりと。
- 時間・・・ 天候や参加者の体力、年齢などを考慮し、ゆとりをもって少し長めに。
- 下見・・・ 野外の環境は日々変化するので、入念な下見を。

少年団体（50人・少年自然の家宿泊利用〈1泊2日〉例）

日時	活動内容	雨 天	留意点
1日目			
9:00	移 動		・人数確認
10:00	入所式 オリエンテーション		・役割分担（司会は指導者もしくは参加者） ・オリエンテーションの前後に職員と打合せ
10:30	野外活動1 ・アスレチック ・探検ビンゴ ・オリエンテーリング ・火起こし など	・ちびっこギネス ・室内ゲーム ・クラフト など	・事前下見 ・持ち物確認 ・人員配置（安全管理） ・評価方法（成績発表など） ・緊急時の対応の確認
12:00	昼食（弁当）		・場所の指示（晴天・雨天） ・ゴミの処理（分別方法） ・手洗い指導
13:00	自然の家入室		・荷物搬入 ・部屋割確認 ・シーツの受取り
14:00	野外活動2 ・アスレチック ・探検ビンゴ ・オリエンテーリング ・沢遊び（夏季） ・ハイキング など	・ちびっこギネス ・室内ゲーム ・クラフト など	（野外活動1参照）
16:30	夕べのつどい		・健康チェック ・諸連絡 ・役割分担
17:00	夕食（食堂）		・配膳開始及び指導 ・片付け、清掃 ・食堂の使い方
19:00	夜間活動 ・キャンプファイヤー ・きもだめし ・天体観察 ・夜間ゲーム など	・キャンプファイヤー ・室内ゲーム ・ビデオ鑑賞 (ソフト持参) など	・事前下見 ・持ち物確認 ・人員配置（安全管理） ・人員確認（ゴール後） ・評価方法（成績発表）
20:30	入 浴		・入浴指導 ・忘れ物有無確認 ・整理整頓
21:30	班長会 就寝準備		・一日の反省や翌日の連絡 ・健康チェック
22:00	就 寝		・適時巡回指導 ・指導者も22時までに入浴

日時	活動内容	雨 天	留意点
2 日目			
6:00	起床・洗面		・荷物整理
6:30	朝のつどい		・健康チェック ・諸連絡 ・灰（キャンプファイヤー）の片付け
7:00	朝 食		（1日目夕食（食堂）参照）
	清 掃		・役割分担
8:45	室内点検		・忘れ物確認と荷物移動 ・部屋長待機
9:00	野外活動3 ・アスレチック ・探検ビンゴ ・オリエンテーリング ・ハイキング など	・ちびっこギネス ・室内ゲーム ・クラフト など	（1日日野外活動1参照）
11:00	野外炊事 ・バーベキュー ・五平もち など (五平もち・もちつき以外の食材・洗い物物品等は団体で準備)		・役割分担 ・安全管理（刃物、やけど） ・燃料や物品の受渡し ・片付けやゴミの分別 ・衛生指導 ・炊事場などの使い方 ・食材や物品の管理
13:00	貸出物品・ 使用場所の点検		・残灰などの片付け ・元の状態に戻す ・使用場所の清掃
13:30	退所式		・役割分担 ・荷物の確認 ・会計（諸経費の精算） ・ケガの有無報告 ・トイレの確認 ・人員確認簿、アンケートの提出
14:00	移 動		

プログラム立案のポイント

- 安 全・・・ キャンプ活動は体力の消耗などを考慮に入れ、通常より万全に。
- ねらい・・・ 自然に触れる・理解する、社会性を伸ばす などはっきりと。
- 時 間・・・ 天候や参加者の体力、年齢などを考慮し、ゆとりをもって少し長めに。
- 下 見・・・ 野外の状況は日々変化するので、入念な下見を。

少年団体（50人・キャンプ場宿泊利用例）

日時	活動内容	雨天	留意点
1日目			
9:00	移動		
10:00	入所式 オリエンテーション		<ul style="list-style-type: none"> ・役割分担 ・オリエンテーションの前後に職員と打合せ
11:00	常設テント入室		<ul style="list-style-type: none"> ・テントサイトの振り分け ・役割分担 ・天候不安定時の実施判断
12:00	昼食（弁当）		<ul style="list-style-type: none"> ・場所の指示（晴天・雨天） ・ゴミの処理（分別方法） ・手洗い指導
13:00	野外活動 1 ・アスレチック ・探検ビンゴ ・オリエンテーリング ・ハイキング など	・ちびっこギネス ・室内ゲーム ・クラフト など	<ul style="list-style-type: none"> ・事前下見 ・持ち物確認 ・人員配置（安全管理） ・評価方法（成績発表） ・緊急時の対応の確認
15:30	野外炊事 1 ・バーベキュー ・カレーライス		<ul style="list-style-type: none"> ・役割分担 ・安全管理（刃物、やけど） ・燃料や物品の受渡し ・片付けやゴミの分別 ・衛生指導 ・炊事場などの使い方 ・食材や物品の管理
18:30	夕べのつどい		<ul style="list-style-type: none"> ・健康チェック ・諸連絡 ・役割分担
19:00	夜間活動 1 ・キャンプファイヤー ・きもだめし ・天体観察	・室内ゲーム ・ビデオ鑑賞 （ソフト持参）など	<ul style="list-style-type: none"> ・事前下見 ・持ち物確認 ・人員配置（安全管理） ・人員確認（ゴール後）
20:00	入浴		
21:00	班長会		<ul style="list-style-type: none"> ・一日の反省や翌日の連絡 ・健康チェック
21:30	就寝準備		<ul style="list-style-type: none"> ・トイレおよび夜露対策の指導
22:00	就寝		<ul style="list-style-type: none"> ・適時巡回指導

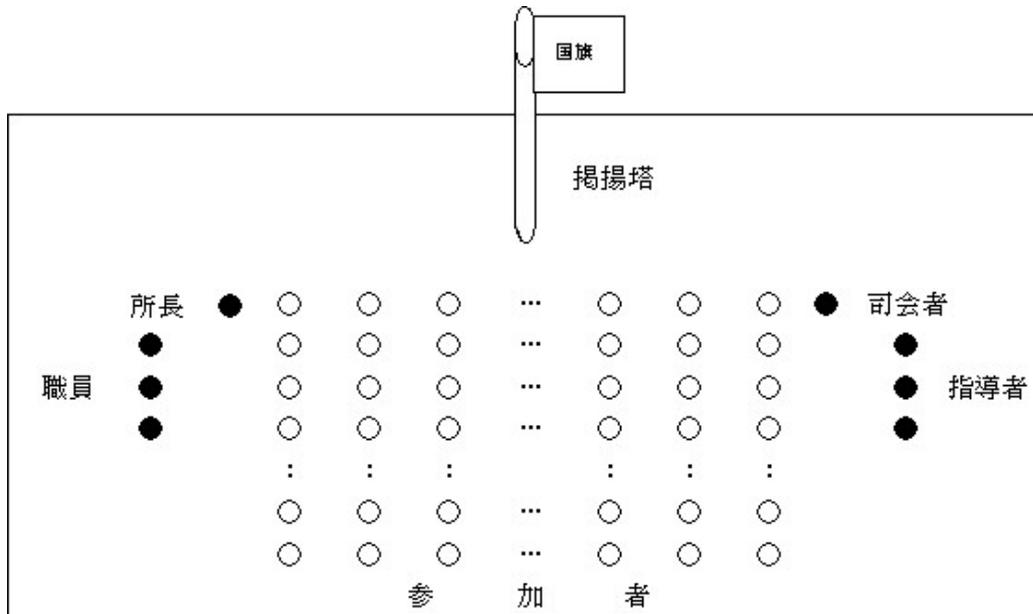
日時	活動内容		留意点
2日目			
6:00	起床・洗面		・荷物整理
6:30	朝のつどい		・健康チェック ・諸連絡 ・灰（キャンプファイヤー）片付け
7:00	野外炊事2		（1日目野外炊事1参照）
9:30	貸出物品・ 使用場所の点検		・残灰などの片付け ・元の状態に戻す ・使用場所の清掃
10:00	テント点検		・物品および使用場所の点検 ・サイトの点検、清掃 ・荷物整理および移動場所の確認 ・荷物移動
10:30	野外活動3 ・アスレチック ・探検ビンゴ ・オリエンテーリング ・ハイキング など	・ちびっこギネス ・室内ゲーム ・クラフト など	（1日目野外活動1参照）
12:00	昼食（どんぐり弁当）		（1日目昼食参照）
13:30	退所式		・役割分担 ・荷物の確認 ・会計（諸経費の精算） ・人員確認簿、アンケートの提出 ・ケガの有無報告 ・トイレの確認
14:00	移 動		

プログラム立案のポイント

- 安 全・・・ キャンプ活動は体力の消耗などを考慮に入れ、通常より万全に。
- ねらい・・・ 自然に触れる・理解する、社会性を伸ばす などはっきりと。
- 時 間・・・ 天候や参加者の体力、年齢などを考慮し、ゆとりをもって少し長めに。
- 下 見・・・ 野外の状況は日々変化するので、入念な下見を。

7 入所・退所式（つどい）の実施例

(1) 隊形



※班長などの指示で、子どもたちが自主的に整列するようにしましょう。

(2) 式次第（例）

①入所式（入所のつどい）

目的：子どもたちの自主性を引き出し、けじめある態度を自覚させる

式 次 第	内 容
・ 整列 一同礼	
・ はじめのことば	「ただいまから、〇〇〇の入所式をはじめます」
・ 国旗（団体旗）の掲揚	※省略しても構いません
・ 利用者あいさつ	指導者もしくは子ども
・ 野外センター職員あいさつ	
・ おわりのことば	「これで、〇〇〇の入所式をおわります」
・ 一同礼 やすめ	
役割	司会 利用者あいさつ 旗掲揚係

※式は団体で進めてください。（司会は指導者でも子どもでも構いません）

式に引き続き、オリエンテーションを行います。

②夕べのつどい（宿泊団体）

目的：夜のプログラムに向けて気持ちを落ち着かせる

式次第	内 容
・はじめのことば	「ただいまから、夕べのつどいをはじめます」
・夕べのあいさつ	指導者もしくは子ども
・歌またはゲーム	※省略しても構いません
・諸連絡	諸連絡及び健康チェック
・国旗（市旗、団体旗）の降納	※省略しても構いません
・おわりのことば	「これで、夕べのつどいをおわります」
・一同礼 やすめ	
役割	司会 旗係（旗に子ども2名） 歌またはゲームの進行

※職員は参加しません。

③朝のつどい（宿泊団体）

目的：子どもたちの意欲を高める。個々の健康状態をチェックする

式次第	内 容
・はじめのことば	「ただいまから、朝のつどいをはじめます」
・国旗（市旗、団体旗）の掲揚	※省略しても構いません
・朝のあいさつ	指導者もしくは子ども
・朝の体操またはゲーム	※省略しても構いません
・諸連絡	
・おわりのことば	「これで、朝のつどいをおわります」
・一同礼 やすめ	
役割	司会 旗係（旗に子ども2名） 体操の号令またはゲームの進行

※職員は参加しません。

④退所式

目的：達成感をともに味わい、子どもたちの成長を評価する

式次第	内 容
・整列 一同礼	
・はじめのことば	「ただいまから、〇〇〇の退所式をはじめます」
・利用者あいさつ	指導者もしくは子ども
・野外センター職員あいさつ	
・国旗（団体旗）の降納	※省略しても構いません
・おわりのことば	「これで、〇〇〇の退所式をおわります」
・一同礼 やすめ	
役割	司会 利用者あいさつ 旗降納係 等

※式は団体で進めてください。（司会は指導者でも子どもでも構いません）

◎ここに示した式次第は参考例です。団体独自の進め方でも結構です。

8 自然の家での生活

(1) 生活のきまり

① 下足室 【※資料編 7ページ参照】

- ・上段へ上ばき、下段へ下ばきを入れてください。
- ・指導者の方も下足室をご利用ください。（玄関入って右の下駄箱は来客者専用です）

② 宿泊室 【※資料編 8ページ参照】

- ・飲食および喫煙はできません。
- ・寝具の室外への持ち出しはできません。
- ・寝具は指定の場所へきちんとたたんで片付けてください。

③ 食堂 【※資料編 9ページ参照】

〈利用開始時間〉朝7:00 昼12:00 夕17:00 配膳開始できるよう計画してください

〈利用終了時間〉朝9:00 昼14:00 夕19:00 この時間までに退室できるよう計画してください

- ・食事以外の利用（ミーティングなど）は不可。
- ・食事の前には手をきれいに洗って、清潔に心がけてください。
- ・食事の準備および片付けはすべて団体による**セルフサービス方式**です。（食事係による配膳など）
- ・食後は分別返却になります。ゴミや残飯は専用バケツに、食器は返却口手前のシャワーで軽くすすいでから水槽へ返却してください。
- ・食後はテーブルおよび床の清掃をお願いします。
- ・湯茶は食堂の給湯器をご利用ください。（食堂外には持ち出し禁止）

④ 浴室 【※資料編 7ページ参照】

〈利用終了時間〉21:30 この時間までに入浴を完了できるよう計画してください。

- ・指導者は22:00までに入浴を完了してください。
- ・シャンプー、ボディーソープはあります。
- ・入浴後は、おけ、椅子を整頓してください。
- ・お湯は循環ろ過していますので、栓を抜かないでください。

⑤ その他

- ・入室後、避難経路や非常口は必ず確認してください。
- ・22:00から翌朝6:00までは玄関などを施錠しますので、出入りはできません。
- ・22:00以降に御用の際は内線(209)で、宿直職員をお呼びください。
出ない場合は、内線(210)で警備員をお呼びください。
- ・場内全面禁煙です。また、アルコール類の持ち込みはおやめください。

(2) 班編成

① 編成人数

- ・部屋割りは宿泊定員を考慮して17人以下にしてください。
- ・活動班はプログラムにあわせて再編成してください。（6～8人が適当）

9 キャンプ場での生活

(1) 生活のきまり

① キャンプ場

- ・自然を大切にしましょう。
- ・決められた時間は守りましょう。
- ・手洗いは念入りに行いましょう。
- ・生水は飲まないようにしてください。
- ・トイレは活動前に行っておきましょう。

② テント内

- ・テント内は**飲食禁止**です。
- ・荷物はテントの中にしまい、テントを離れる場合は**必ず**入口を閉めましょう。
- ・テント内で火気、虫除けスプレー等の使用は**厳禁**です。

③ 炊事棟

- ・節水・節電につとめましょう。
 - ・火気の取り扱いには十分注意しましょう。
 - ・ゴミは正しく**分別**しましょう。
- また、生ゴミは野外センターで引き取ることができます。
それ以外のゴミは団体の責任で確実に処理してください。

④ その他

- ・食中毒や鳥獣の被害に遭わないよう**食品の管理**には特に注意してください。
- ・外部への食材や弁当、写真撮影等の依頼をする場合は、**事前に時間や場所、注意事項等の確認**をしてください。
- ・**場内全面禁煙**です。また、**アルコール類の持ち込みはおやめ**ください。

(2) まき類（燃料）およびキャンプ用貸出備品の受渡しと返却

- ・燃料、備品の受渡し → 職員・指導者の両者立会いのもと行います。
 - ・受渡し後の燃料、備品の管理 → 団体側で行ってください。
 - ・返却、点検 → 職員の点検を受けてください。
- ※備品、燃料の不足や追加などは職員に申し出てください。
※受渡し後の燃料は、**使用していないものにかぎり返品**できます。

(3) 物品および活動場所の点検

プログラムの中には必ず**職員の「点検」時間**を組み入れてください。

● 点検内容

- ・使用したサイト、炊事場、ファイヤー場、灰すて場の点検
- ・貸出しをしたキャンプ用品の点検

※不十分な場合はやり直しをしていただくこともあります。

(4) 班編成

編成人数

- ・テント班は収容人員を考慮し、常設テント6人（設営テント4人）程度が適当です。
- ・活動班は炊事やプログラムにあわせて再編成してください。

10 健康・安全

(1) 利用者の安全確保のための留意点

- ①団体の指導者は、入所前に参加者の健康状態を把握しておいてください。
(健康カードなどを作成しましょう)
- ②救急医薬品や応急処置に必要な用具は、団体で用意してください。
- ③マスクや手指消毒液などの衛生用品も、団体で用意してください。

(2) 傷害見舞金給付制度

- ①野外センターでは、『施設入場者傷害見舞金給付制度』に加入しております。
万一、場内で事故等が発生した場合は**速やかに職員にご連絡ください**。
事後連絡の場合、給付が受けられないこともあります。
※見舞金制度は治療費などをお支払いする傷害保険ではありません。
- ②万一の事故等に対応するため、団体にて傷害保険等への加入をお勧めします。

(3) AEDおよび担架の設置場所

応急処置に使用できる物品の設置場所を事前に確認しておくで安心です。

●自然の家

【AED】

- ・固定式(1台) ...① 玄関受付横
- ・移動式(1台)
- ※必要な場合は事務所に申し出てください。

【担架】...② 玄関受付付近



●キャンプ場

【AED】

- ・固定式(1台) ...① 管理棟



(4) 保健室の物品一覧

各保健室（自然の家、管理棟、ファミリー広場）には以下の物品があります。

消毒液	ガーゼ	ピンセット
紙テープ	絆創膏	包帯
三角巾	体温計	爪切り
毛抜き	氷のう	氷枕
嘔吐物処理キット	ポイズンリムーバー	うがいキャッチ
湯たんぽ	経口補水液	熱中症指数モニター

※野外センターに内服薬はありません。必要に応じて各自ご用意ください。

(5) 当所近くの主な医療機関（令和4年3月現在）

・中村医院（内科・外科・消化器科） 休診日／日・祝日・水と土の午後	岩倉町柿田39-3	TEL 86-1414
・ひらい眼科（眼科） 休診日／日・祝日・水と土の午後	高上1-4-3	TEL 88-2880
・吉田整形外科（整形外科） 休診日／日・祝日・水と土の午後	御立町7-100	TEL 89-1818
・吉田整形外科人工関節クリニック（整形外科） 休診日／日・祝日・土の午後	五ヶ丘1-2-2	TEL 88-5577
・豊田厚生病院（総合） 休診日／土・日・祝日	浄水町伊保原500-1	TEL 43-5000
・トヨタ記念病院（総合） 休診日／土・日・祝日	平和町1-1	TEL 28-0100
・豊田地域医療センター（総合） 休診日／日・祝日・土の午後	西山町3-30-1	TEL 34-3000
・足助病院（総合） 休診日／土・日・祝日	岩神町仲田20	TEL 62-1211

※診療時間、休診日、及び救急診療、休日診療については、利用前に最新の情報を各団体で再確認してください。

(6) タクシー案内

		24時間対応(R6, 2確認)
松平交通有限会社	配車センター	☎ 58-1155
豊栄交通株式会社	タクシー配車	☎ 28-0228

1 1 送迎バスについて

(1) 利用条件

- ① 豊田市内の青少年団体
- ② 豊田市民(在住・在勤・在学)の乗車人数が20名以上であること
- ③ 成人引率者がバスに添乗すること

(2) 運行時間 (宿泊利用・日帰り利用・ナイトキャンプ利用)

迎え	9:00～17:00	:00 または :30で設定します。
送り	9:00～21:00	

※時刻は出発時刻です。10分前には集合するようにしてください。

※ナイトキャンプの場合は、21:00までに出発できるようにしてください。

(3) 配車台数

当日利用する人数に応じて配車します。

参加人数	大型バス	乗用車
		53席 (45+補助席8)
20～ 53名	1	緊急車両 1台 + <input type="text"/> 台
54～106名	2	
107～159名	3	

※人数により、マイクロバスが配車されることもあります。

(4) 配車場所

指定場所に配車します。(打ち合わせ時にご相談ください)

(5) 緊急車両

団体で1台(自家用車など)、必ず用意してください。

※当日、『場内通行許可書』をお渡しします。

車内の見えやすい場所に掲示してください。

※冬期期間は路面が凍結する場合がありますのでご注意ください。

(6)送迎バス利用までの流れ

① 利用打合せ	バス配車の「場所・時間・台数」を確認します。
② 配車場所の許可	団体から事前に発着場所(施設)の管理者に連絡し、許可を受けてください。
③ 変更連絡	参加人数の増減により、 <u>バスの配車台数に変更が生じる場合は</u> 、 <u>野外センターまで連絡してください。</u> < 変更期限 : 利用日の2週間前の15時 >
④ 利用数日前	利用前日までに、旅行会社から直接、代表者に最終確認の電話が入ります。
⑤ 利用当日	【乗車時】安全確保、スムーズな移動を心がけてください。
	【出発時】人数を確認の上、乗務員に乗車完了を伝えてください。 ※集合場所からの出発が大幅に遅れる場合は、野外センターまでご連絡ください。
	【走行中】席を立たない、窓から手を出さない等、団体員の安全確保は、団体指導者でお願いします。 ※体調等で気分が悪くなる子どもが出る場合があります。万一のため、ビニール袋をご用意ください。 ※マイク利用、DVD鑑賞はできません。
	【下車時】安全確保、スムーズな移動を心がけてください。 ※最後に団体指導者で忘れ物を確認してください。 ※到着後は、速やかに降車してください。

12 持ち物一覧表

区分	品名	分担	備考	区分	品名	分担	備考
生活物品	◎ リュックサック	個人		野外炊事物品	スポンジ	班	各種
	ナップサック	個人			たわし類	班	各種
	★ 水筒	個人			洗剤、クレンザー	班	
	ぼうし	個人	黒色は避ける		ふきん	班	
	◎ タオル	個人			ぞうきん	個人	
	★ ハンカチ	個人			ザル	班	
	★ ティッシュ	個人			ボウル	班	
	★ 雨具(傘・カッパ)	個人			マッチ、ライター	班	
	予備のくつ	個人	天候により		うちわ	班	
	◎ 懐中電灯	個人	予備電池		はんごう	班	貸出しあり
	★ ビニール袋	個人			なべ	班	貸出しあり
	筆記用具	個人			鉄板	班	貸出しあり
	◎ 洗面用具	個人			ラップ・ホイル類	班	
	着替え	個人	くつした・下着は予備を用意		ゴミ袋	全体	
	◎ ねまき	個人	ジャージでも可		消火用バケツ	全体	貸出しあり
防寒着、上着	個人	季節に応じて	燃料類(まき・炭)	全体	斡旋あり		
野外炊事物品	★ 上履き(シューズまたはスリッパ)	個人	自然の家や雨天時の室内利用	ファイヤー物品	トーチ棒	全体	斡旋あり
	◎ 寝袋(毛布)	個人	自然の家は寝具あり		点火用物品	全体	針金、マジック用薬品等
	★ 腕時計	班			灯油	全体	斡旋あり
	名札	個人			営火長等衣装	全体	貸出しあり
	軍手(綿)	個人	2～3組		ろうそく(大・中)	全体	斡旋あり
	食器類	個人	おわん、皿、はし、スプーン等		ろうそく(小)	全体	斡旋あり
	新聞紙	個人			新聞紙	全体	トーチ棒消火用
その他	包丁	班		その他	食事係マスク	班	食堂利用時のみ
	まな板	班			★ 活動のしおり	個人	
	しゃもじ	班			★ 救急用医薬品	全体	
	お玉	班			常用薬	個人	
					カメラ	全体	
					携帯電話	全体	通話不良エリア有り

★：活動内容を問わず必要な物品 ◎：宿泊に必要な物品

- ・軍手は綿100パーセントの物が適しています。(滑り止めゴムの付いた物や化学繊維が含まれる物は、溶けて火傷することがあります)
- ・服装や靴は活動しやすい物にしてください。(サンダル・厚底靴などは適しません)
- ・傘をさしての移動はケガの恐れがあるため、カッパも持参してください。
- ・プログラムの内容により必要な物、不要な物があります。
- ・持ち物には必ず名前を書くようにしてください。